

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-------------------------|--------|----------------|
| 建物名称 | 吉田島高校実習棟 | 階数 | 地上3F |
| 建設地 | 足柄上郡開成町吉田島281 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 第一種中高層住居専用地域、第一種住居地域 | 平均居住人員 | 530人 |
| 地域区分 | 5地域 | 年間使用時間 | 1,720時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 学校 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2021年1月 予定 | 評価の実施日 | 2019年3月6日 |
| 敷地面積 | 3,820.00 m ² | 作成者 | 株式会社小林建築事務所 |
| 建築面積 | 2,161.05 m ² | 確認日 | 2019年3月6日 |
| 延床面積 | 4,528.24 m ² | 確認者 | 株式会社小林建築事務所 |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

| 3 設計上の配慮事項 | | その他 |
|--|--|--|
| 総合 北側の町道209号線側を部分的にセットバックし近隣への威圧感を抑制、落ち着いた色彩の仕上により周辺環境・景観に配慮した外装計画。 | | |
| Q1 室内環境 高断熱材の使用により外皮性能を上げて、温熱環境に配慮。評価の高い屋光率を目標とし、日除けルーバー、サービスバルコニー及び庇を採用するなど、光・視環境に配慮。また、F☆☆☆☆☆建材を全面的に採用し、全館禁煙とするなど、空気質環境にも十分配慮。 | Q2 サービス性能 階高を高く設定し、空間にゆとりをもたせている。適切にパイプスペースを設けるなど、長寿命化に向けて設備のメンテナンス及び更新性に配慮した計画。 | Q3 室外環境(敷地内) |
| LR1 エネルギー 高断熱材の使用により外皮性能を上げて、温熱環境に配慮。LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮。 | LR2 資源・マテリアル 高性能ノンフロン断熱材を採用している。自動水栓及び節水型便器などの省水型機器を採用するなど、水資源を保護している。 | LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出量を80%以上100%未満とするなど、地球温暖化へ配慮。実習室の自然採光、自然通風に配慮した配置平面計画。広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される